

DEER NUUKI

デレヌキ

vol.1



for
ADULT ONLY

TUNA EMPIRE
PRESENTS



『ヒースの荒野を
歩いているとき
石に足をぶつけて

その石はどうして
そこにある事になったの
かと尋ねられたとしよう



この答えが誤っている
ことを立証するのはそう
たやすくはないはずだ
……だが

時計が一個落ちてくるの
を見つけてその時計がどうして
そんな所にあるのかと尋ねられ
たとすると今度は石についての
ように答える訳にはいかない
だろう』




私はおそらく
こう答える
だろう

「それはずっと以前から
そこに転がっていたとし
か考えようがない」と



……そう



その時計には製作者がいたはずで
ある いつかどこかに…それが
実際になえられていることが
われわれにもわかる

ある目的を持って
時計を造った
——つまり

時計の造り
方を知り

使い方を予定
していた

盲目の
時計職人

THE BLIND
WATCHMAKER



考案者が存在
したに違いない





ウィリアム・ペイリー
……英国の神学者
だったかしら？

そう



だが進化生物学者
リチャード・ドーキンスは
言う

「我々は生存機械」

遺伝子という名の
利己的な分子を保存
するべく盲目的に……

やめてよ



退屈な講義の
相手をさせるために
私を？

違うよ



君にはこの先
ずっとこの暗い
部屋で

僕の性欲処理を
する道具になって
もらうんだ

あらそう？



で 結局する
事といえは
ソレ？

結



いかにもオタクで
引きこもりで

自意識だけは肥大化してる
ネクラなマツチヨの
考えそうな事ね



ま その方が
あなたにはお似合い
だけど

言ってるよ…



そそれから...



まずは全身の
穴を犯しまくって
やるんだ



時間は
たっぷり
あるんだ...

せせいぜい楽しま
せてもらおうさ



さ...
さ...





あつ...



んっ...



んっ...



んっ

んっ...

んっ



んっ

んっ

んっ

自らの身を度量せず、
利己的かつ利己的の嗜好を
遺伝子を遺伝子レアルでけ
いするような世帯の遺伝子を保存
利己的の嗜好を

遺伝子を遺伝子レアルでけ
いするような世帯の遺伝子を保存
利己的の嗜好を





ほら...

ケツにキスしてよ...

なっ
なんで...

...別に

ただこういうのが好きだから...



ン...



あつ...



淫妄な複製...

挿入...
素直が...



あつ



あつ

はあつ



うああああ!!



はっ... あつ



あつ

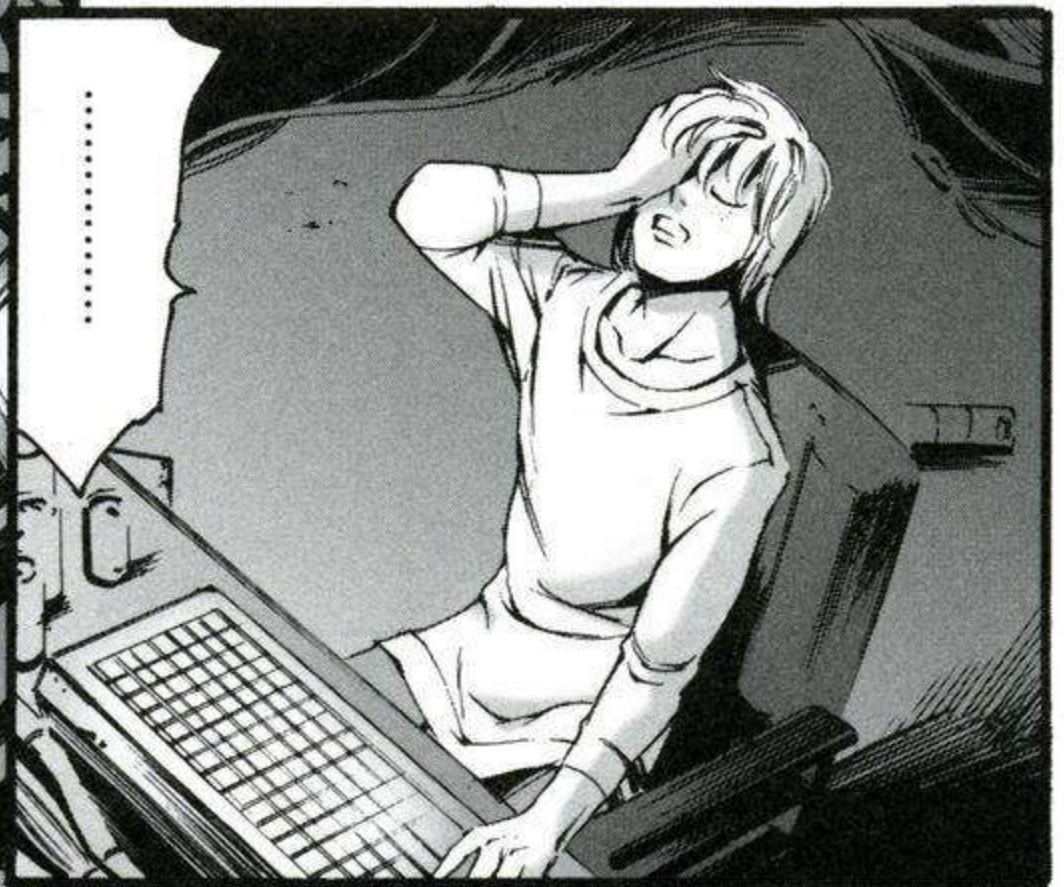
あつ

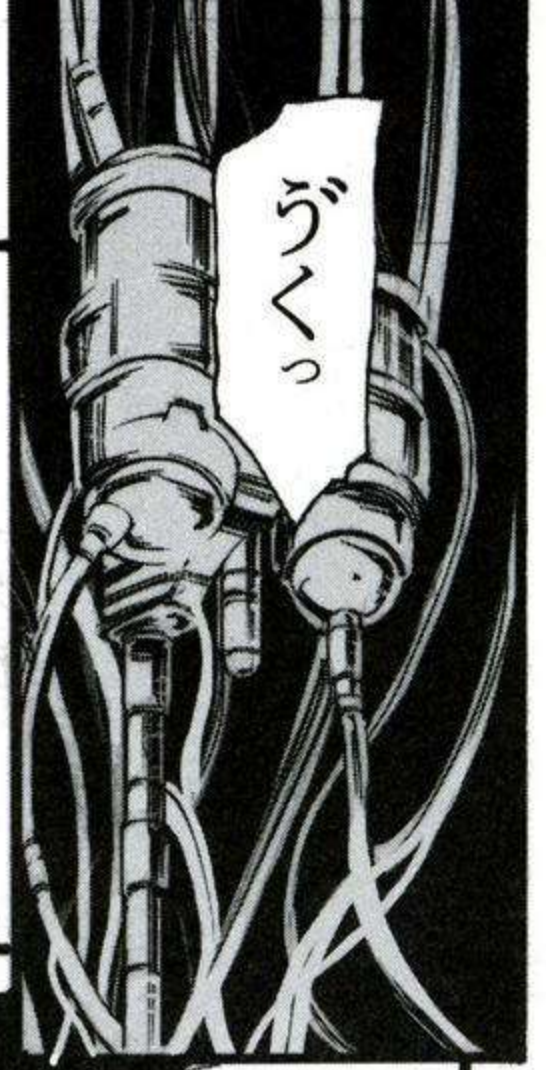
はあつ!

あつ









「盲目の時計職人」によって
「人間」を造る事は出来る…



だが「超人」を造る
事は決してできない
のだ…



タチコマは全身義体の夢を見るか



という訳で、フィリップ・K・ディックがサイバーパンクを見る
現在、我々の住んでいる世界はディックが幻視した悪夢—多くの人
い物であり、いくら現実を求めてもまがい物にしかた
いというテーマの繰り返し—を上回っていると言
る人間が果たしてどれ程いるのかと危惧し
までもなく、我々の社会を覆って
によって織り上げられたマトリ
ールの『シュミレーションと
ることを思い出してほしい
であり、その中で多くの人々
拒否し、セカイの夢を見ながらま
のような夢を見ているのは資本の要
ンイレブンのCM以降、我々はすでに真夜
ない社会に生存しており、消費者は貨幣を
を幾分か満たすことができ、もちろんこ
り、そのような意味でやはり、我々は世
ろう)、では、その夢から覚めたとこ
うよりも言語を超越したもの、ある
をラカンが「現実界」と名付けたよ
の言葉を借りれば“物自体”)を我
よって知覚認識できないだけなの
して生存し、自らの遺伝子を残す
や真理を知るようには進化して
論と認識論に跨る形而上学的議
い(語り得ぬことについ ては
論は割愛するとしても、我々に
けなのかもしれないが、我々
(むしろ「幼児化」の方が相
永らえさせるために、その養
しとはしないので、少なくとも、
であると認識し、不可能とは知りつ
への第一歩を(ブッダが説いたように、ただ、
っすぐに)踏み出さざるを得ないのかもしれない。

ことなくこの世を去ってから四半世紀が過ぎたわけだが、
が解説しているとおり、ディックの作品は現実が実はまが
どり着けず、そもそも現実など最初からどこにも無
わざるを得ないという認識を持ち合わせてい
てみたところで、ポードリヤールを持ち出す
いるのはシュミレーションとシュミラークル
ックス(映画『マトリックス』にポードリヤ
シュミラークル』英訳版の表紙が登場してい
またはジャック・ラカンが言うところの象徴界
は自らの幼児的全能感を満たすべく、成熟を
ろんでいるのだろうが(もちろん人々にそ
求—80年代に放映された、CVSセブ
中に稲荷寿司を欲することを非難でき
支払うことによって自らの幼児的全能感
れによって資本はさらに増大する—であ
界から「疎外」されていると言えるだ
ろで真の現実などどこにもなく、と言
いは言語によって分節化できないもの
うに、単に我々には真の現実(カント
々自身の言語や感覚器官という限界に
かもしれない(そう、我々は生物と
ように進化してきたのであって、真実
きてはいないのだ)が、そういった存在
論をすることがここでの目的ではな
沈黙せねばならない)のでこの議
出来るのは別の夢を見ることだ
はセカイを夢見る「動物化」
応しいか)した人々を生き
分とされることをよ
あるいは、夢は夢
つもそこから覚醒
犀の角のようにま











奥付

発行日 第一版 2007年 8月19日
第二版 2007年 12月31日
第三版 2008年 2月15日

発行元 メスゴリラ。

著者 まぐろ帝國

印刷所 P I C O

(プリンティングイン株式会社)

連絡先 〒202-0002

ひばりが丘北郵便局止め

吉原 隆

注意事項 禁十八歳未満

禁無断転載

DEERBLINK

デレヌキ

vol.1



**TUNA EMPIRE
PRESENTS**

**for
ADULT ONLY**